

# 九州南部・奄美地方 2016年の気候統計値に関するお知らせ

平成29年1月4日

鹿児島地方気象台

年平均気温は、全ての地点で「かなり高い」となり、延岡と名瀬では年平均気温の高い方からの極値を更新しました。年降水量は、名瀬を除く全ての地点で「多い」となり、都城、油津、鹿児島、阿久根、枕崎、種子島では「かなり多い」となりました。年間日照時間は、宮崎、都城、阿久根では「少ない」となりましたが、その他の地点では「平年並」となりました。

## 2016年の気候表

	地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級		
		( )	( )	( )	(mm)	(%)	( )		(h)	(%)	
宮崎県	宮崎	18.6	(+1.2)	+*	2951.5	(118)	+	122	2051.4	(97)	-
	延岡	17.7	(+1.1)	+*	2957.5	(129)	+	125	2105.4	(99)	-
	都城	17.7	(+1.2)	+*	3619.0	(146)	+*	132	1799.4	(93)	-
	油津	19.0	(+0.8)	+*	3718.0	(143)	+*	132	1910.2	(98)	-
鹿児島県	鹿児島	19.6	(+1.0)	+*	3285.5	(145)	+*	132	1945.7	(101)	-
	阿久根	18.2	(+1.0)	+*	3011.0	(146)	+*	123	1917.8	(98)	-
	枕崎	19.1	(+1.0)	+*	2982.0	(137)	+*	133	1922.3	(100)	-
	屋久島	20.3	(+0.9)	+*	4937.5	(110)	+	179	1520.9	(99)	-
	種子島	20.5	(+0.9)	+*	2963.5	(126)	+*	141	1838.4	(102)	-
	名瀬	22.6	(+1.0)	+*	2689.5	(95)		185	1386.9	(102)	-
	沖永良部	23.3	(+0.9)	+*	2175.0	(118)	+	137	1910.4	(102)	-

(注意)・「階級」の欄の符号は、+:高い(多い) :平年並 -:低い(少ない)ことを示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981~2010年間で、高い(多い)方または低い(少ない)方から10%に入る極端な値である場合には、階級の「+ -」に\*を付加した。この場合には +\*:かなり高い(多い) -\*:かなり低い(少ない)と表現できる。  
・値の横に ]がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計月数を参考にして使用されたい。

## 2016年の順位更新表

・年平均気温の高い方から

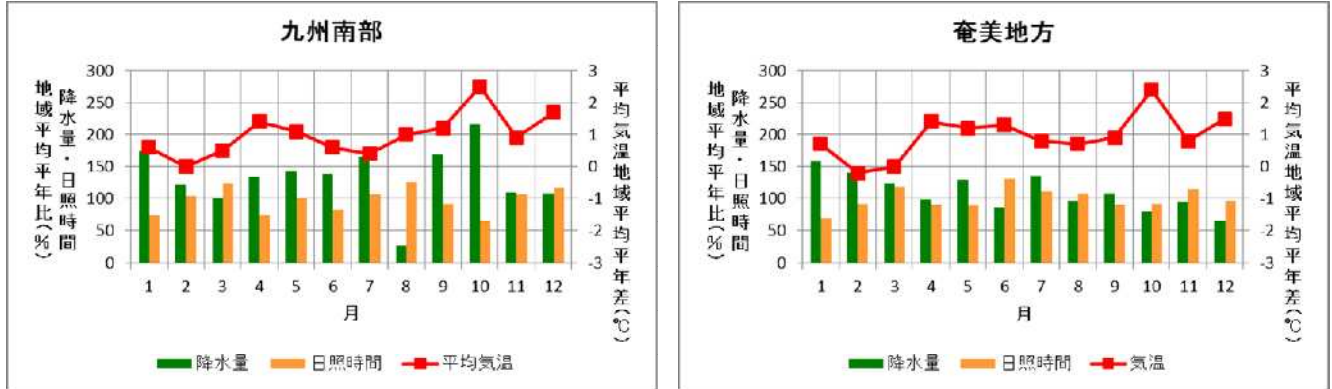
順位	地点名	値( )	平年値( )	平年差( )	これまでの1位( ) (西暦年)	統計開始年
1	延岡	17.7=	16.6	+1.1	17.7 (1998年)	1961年
	名瀬	22.6=	21.6	+1.0	22.6 (1998年)	1897年
2	沖永良部	23.3	22.4	+0.9	23.6 (1998年)	1969年
	阿久根	18.2	17.2	+1.0	18.4 (1998年)	1939年
	鹿児島	19.6	18.6	+1.0	19.8 (1998年)	1883年
	都城	17.7	16.5	+1.2	17.8 (1998年)	1942年
	宮崎	18.6	17.4	+1.2	19.2 (1998年)	1886年
	枕崎	19.1	18.1	+1.0	19.2 (1998年)	1923年
	油津	19.0	18.2	+0.8	19.5 (1998年)	1949年
	屋久島	20.3=	19.4	+0.9	20.6 (1998年)	1938年
	種子島	20.5	19.6	+0.9	21.2 (1998年)	1948年

・年降水量の多い方から

順位	地点名	値(mm)	平年値(mm)	平年比(%)	これまでの1位(mm) (西暦年)	統計開始年
3	都城	3619.0	2481.8	146	4065.5 (1993年)	1942年

順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

(参考資料) 九州南部、奄美地方における月の地域平均気温平年差、降水量・日照時間の地域平均平年比の月毎の経過



(注意) 当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

## (参考) 季節別の天候経過

グラフは九州南部、奄美地方における地域平均気温年差、降水量・日照時間の地域平均年比の各季節における旬毎の経過

### 冬 (2015年12月～2016年2月)

気温は高く、降水量はかなり多かった。日照時間は少なく、奄美地方ではかなり少なかった。

12月：九州南部では、高気圧と低気圧が交互に通過して天気は数日の周期で変わりました。10日は、九州南部付近を通過した低気圧の影響で記録的な大雨となりました。奄美地方では、低気圧や前線、寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

1月：高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や前線、寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多くなりました。特に23日から25日にかけては、強い寒気の影響で九州南部では大雪となった所がありました。また、24日には名瀬で1901年2月11日以来115年ぶりに雪を観測し、沖永良部で1969年5月1日の観測開始以来初めてみぞれを観測しました。さらに、24日から25日は冷え込みが厳しくなりました。

2月：九州南部では、上旬と下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、中旬は気圧の谷や前線、寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。奄美地方では、気圧の谷や前線、寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。13日は、日本海にある発達中の低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込んだため4月上旬から中旬並の暖かさとなりましたが、15日から16日は強い寒気が流れ込んだため鹿児島でみぞれを観測するなど気温の変動が大きくなりました。



### 春 (3月～5月)

気温はかなり高く、降水量は多かった。

3月：九州南部では、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日がありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。奄美地方では、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

4月：九州南部では、中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、上旬と下旬は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。奄美地方では、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

5月：九州南部では、上旬の前半と中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、上旬の後半と下旬は低気圧や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多くなりました。奄美地方では、前半に高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多くなりました。



## 夏（6月～8月）

九州南部では気温は高く、降水量・日照時間は多かった。

奄美地方では気温はかなり高かった。夏の平均気温は平年差+1.0 となり、統計開始（1946年）以来1位タイとなる記録的な高温となった。

6月：九州南部では、梅雨前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多くなり、特に中旬以降は、梅雨前線が九州付近に停滞して活動が活発となったため大雨の日が多くなりました。奄美地方では、期間の前半は梅雨前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、後半は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

7月：九州南部では、期間の前半は梅雨前線が九州付近に停滞したため曇りや雨の日が多く、特に8日から14日にかけては暖かく湿った気流の影響で前線の活動が活発となり、大雨となった日が多くなりました。期間の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。奄美地方では、太平洋高気圧に覆われて概ね晴れましたが、台風第1号や熱帯低気圧に伴う湿った気流の影響で曇りや雨の日がありました。

8月：九州南部では、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、期間の終わりは気圧の谷や上空の寒気の影響で雨の降った所がありました。奄美地方では、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、上旬と下旬は熱帯低気圧や台風第10号に伴う湿った気流の影響で雨の降った日も多くなり、大雨となった所がありました。



## 秋（9月～11月）

気温はかなり高かった。九州南部では平年差+1.6、奄美地方では+1.3 となり、秋としては統計開始（1946年）以来1位となる記録的な高温となった。

9月：上旬は、台風第12号や第13号、前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった日がありました。中旬以降は、前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多くなりました。特に九州南部では、20日に台風第16号が大隅半島に上陸したため、19日から20日は大荒れとなった所があり、延岡や枕崎で日降水量や日最大1時間降水量の9月及び年の極値を更新するなど記録的な大雨となりました。

10月：上旬は、天気は数日の周期で変わりましたが、九州南部では前線や東シナ海を北上した台風第18号の影響で大雨となった日がありました。中旬は、気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多く、奄美地方では大雨となった日がありました。下旬は、天気は数日の周期で変わりましたが、九州南部では22日から23日は前線や台風第22号から変わった低気圧の影響で大雨となった所がありました。

11月：上旬の前半までは大陸からの高気圧に覆われて概ね晴れました。その後は、高気圧と低気圧が交互に通過して天気は数日の周期で変わりましたが、奄美地方では前線や寒気の影響で下旬は曇りや雨の日が多くなりました。

